

学校再編だより

令和4年9月22日
香取市教育委員会教育総務課
☎0478-50-1220

小見川東小学校の統合を見送り

令和4年7月28日(木)小見川東小学校体育館にて、小見川東小学校再編に係る保護者意見交換会が行われました。

意見交換会には、小見川東小学校児童の保護者、就学前の児童の保護者及び校長・教頭をあわせた26名のご参加をいただきました。



統合に約6割が反対

意見交換会では、香取市教育委員会より、小見川東小学校の統合に対して反対が56.79%であったアンケート結果について説明と意見交換が行われました。その結果、「小見川東小学校の統合は見送ること」を決定いたしました。

【意見交換会 質問・意見】

- (問) 児童が少ない学校のデメリットは？ (答) 複式学級^(注)の発生。将来6年生のいない年が発生。
- (問) 小見川東小から別の学校に通う子は何人？ (答) 今年度の申請は1人。
- (問) 来年度に入学する児童は何人か？ (答) 4月時点の推計では男2人、女4人の計6人。
- (問) 入学予定より実際の人数が少ない場合の対応は？複式学級^(注)のある学校に入れたくない
(答) 前後の学年が一定数いるため、複式学級となる予定はありません。
- (問) 入会地の児童は小見川東小と小見川中央小どちらか選択できるのか？
(答) 規則では、入会地は小見川東小学区であるが、小見川東小学区を除く区域が小見川中央小学区と記載されている。

- ・学校再編のアンケートを行うこと自体が保護者の不安を煽っている。
- ・保育所の子ども達、特に男の子が少なく、とても不安に思っている。
- ・6年生0人となる事がデメリットとのことだが、保育所で既に経験しているため心配に思っていない。
- ・小見川東小の児童数減少は事前に把握できたはず。話合いの場を設けるのが遅れたせいではないか。
- ・小見川中央小では運動会で深夜から並んでいる保護者がいると聞く。そのようにはしたくない。
- ・小見川こども園の新設が小見川東小の児童数減少に拍車をかけていると思う。
- ・アンケートの同封資料は、統合するか否かを判断する材料が少なかったと思う。
- ・教育委員会ともしっかりコミュニケーションをとりたい。
- ・人口減少に対して、学校を減らすのではなく、人口を増やす努力をして欲しい。
- ・小見川東小への指定校変更について条件なしで認めて欲しい。
- ・小見川中央小保護者へ、小見川東小にきたい子はいないかアンケートを取って欲しい。
- ・学区をなくすことは可能か。または学区整理を行うことができないか。
- ・意見交換会 欠席者への結果の通知。また、統合を見送ったことを情報発信してほしい。

(注釈) 複式学級：2つの学年が計16人以下となる事で、1人の先生が2つの学年を担当する教室(1年生を含むときは8人以下)

【意見交換会での要望及びそれに対する回答】

要望①

小見川中央小保護者へ、小見川東小に通学したい子はいないかアンケートを行うことはできますか？

回答①

小見川中央小へのアンケートですが、アンケートを行うことで統合をあおる事になるという意見を保護者からも言われており、また、転校や転居を推進しているともとられますので、教育委員会として実施すべきものでないと考えます。

小見川東小の良さを学校や保護者、地区の皆様が連携し、アピールしてもらおう事で「小見川東地域に住みたい」、「小見川東小に通いたい」と考える方が増えることが期待できると思います。

要望②

自由に学校を選択できるようにできますか？（学校選択制の導入）

回答②

自由に学校を選択できるようにすると、市内小中学校の地理的状況や市内公共交通機関の状況等を踏まえると登下校時の保護者負担等から保護者に不公平感（送迎ができる家庭とそうでない家庭がある）を与えるおそれがあります。また、これまでの就学校についての相談内容などから、1学年で学級数の多い学校への就学を希望する保護者が多く、現在より学校ごとの児童生徒数の偏りがでてしまうことが予測されます。さらに、児童生徒の生活に密着した地域を題材とした学習指導等が行いにくくなる懸念があります。

以上のことなどから、現時点では学校選択制の導入は考えておりません。

要望③

学区の整理を行うことができますか？

回答③

適正配置計画の実施により、統合校や新設校が開校する際、登下校の安全等を勘案しながら当該校の通学区域の検討を行います。

要望④

小規模の小学校へは、指定学校変更について無条件で認めることはできますか？（特認校制度の導入）

回答④

従来の通学区域は残したままで特定の学校について、通学区域に関係なく市内どこからでも就学を認める特認校制については、本年度、市内小学校15校のうち、100人以下の小規模な学校は6校ですが、さらに3年後の令和7年度では15校中8校になります。市内の過半数の小学校が小規模な学校となるため、特認校制のメリット（「保護者の学校教育への関心が高まった」、「子どもの個性にあった学校で学ぶことができるようになった」等）をいかすことはできないと考えておりますので、導入は考えておりません。

保護者意見交換会に参加していただいた方、また、学校再編に係るアンケートに回答していただいた方、ご協力いただきありがとうございました。

皆様の意見をもとに、「将来を担う子どもたちが、確かな学力・豊かな心・健やかな体を育むことができるよう、教育環境の是正や高度情報化社会に対応した学習環境の整備」に尽力をつくしていきたいと考えています。

これからも、香取市教育行政へのご協力よろしくお願いたします。